

情報化社会についてプレゼンテーションをしよう！

<ねらい>

1. 情報化社会に関わるテーマについて、情報を収集しまとめて発表を行い、自分の知識を深め、かつ情報の共有をめざす。
2. プレゼンテーションソフトの操作に慣れ、使いこなす。
3. 相手を説得する力・伝える力の向上をめざす。

<条 件>

1. テーマは情報化社会に関わるテーマとします。
携帯・インターネット・テレビ・新聞・雑誌・パソコン・ゲーム機・
コンビニ端末など情報化社会に関わるものであればOKです！
2. プレゼンテーションなので、最後に聞く人を説得する結論が必要です。
そこをふまえたテーマを設定してください。
3. 説得力をもたせるため、調査・分析では以下の二つの方法を必ず行うこと。
①アンケートや調査など、身近な人（学年）の調査を行い活用すること
②インターネットやパンフレットなど他の情報源も活用すること
4. 発表は PowerPoint を使って行い、原稿も提出すること

<企画のヒント>

1. テーマ設定のヒント
携帯の例・・・ホワイトプランの賢い活用法、得な携帯プランはどこ？
ネットなら・・・着メロならこのサイト、無料サイト活用法
テレビなら・・・おすすめ朝の情報番組、
新聞なら・・・おすすめスポーツ新聞、連載記事 など

参考：プレゼンテーションの構成

- ①課題発見 = 現状分析 → 課題発見
 - ②基本方針をたてる= 目的を明確化 → 対象設定 → 解決手段
 - ③解決策の展開 = 実施方法 → 費用・効果
- 「日経ビジネス ASSOCIE 2月5日号 記事より」

2. 説得力をもたせるヒント

- ①「現状分析」にアンケート結果を活用すると説得力がでるのでは？
・得な携帯のプランのプレゼンなら、アンケートで「今の料金が高いと感じる」
「料金プランはよくわからない」というデータをとっておくと説得力あり。
- ②数字や詳細な資料は説得力あり
・「1ヶ月で〇〇円の得をします！」「雑誌〇〇のデータでは・・・」
- ③聞く相手（高校1年の生徒）を意識してテーマを選ぼう！
・必要な情報、得をする情報、興味を持ってもらえる情報が大切です！

<手 順>

1. プレゼンテーションするテーマを設定し、企画書を完成させる。
2. 決めた内容について、結論に説得力が出るように、分析・調査を行う。
※ここでしっかり調べられるかが成功を決めるポイントですよ！
3. 調べた内容から発表をイメージし、スライドの構成を考え、下書シートに
記入する ※1枚目は タイトル+組・番・名前
4. 下書シートをもとに、PowerPoint でスライドを作成する。
5. スライドを、「配付資料」で印刷し、それを原稿として発表の準備を行う（原稿は提出）
6. 発表し自己評価・相互評価を行う。

<評 価>

1. 企画・下書シートの記入（内容・提出期日）
2. 発表原稿の記入（内容・提出期日）
3. 発表の評価（企画力・内容を主に）
4. 発表の態度（前回のCM研究の発表と同じ観点で評価）
5. 授業への参加態度（時間を有効に使っているか？）

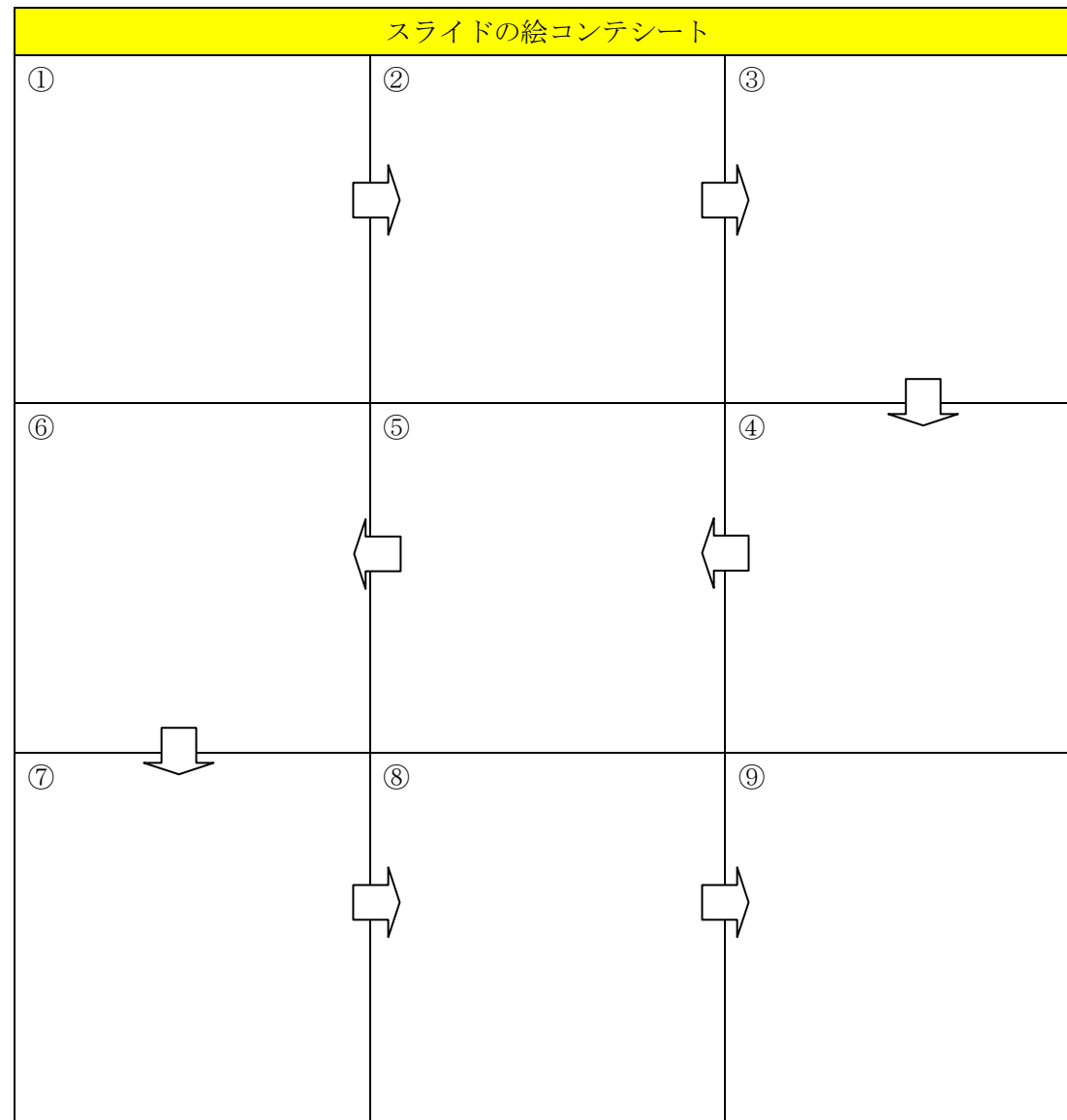
☆構成のヒント

事実の説明には客観性が必要、具体的な数字等があれば説得力は増す。結論は主観でよいが、そちらの意見に流れるよう、発表にも工夫が必要！

情報化社会についてプレゼンテーションをしよう！

企画シート

テーマ	
コンセプト (ねらい)	
調査方法	
展開	
結論	



高校1年 組 番 (名前) _____

情報化社会のプレゼンテーションをしよう！（発表）

< 準備 >

1. スライドを配付資料として印刷し、メモ欄に発表原稿を作っておく。
※発表後提出するので丁寧に書いておくこと
2. スライドとコメントのタイミングを合わせるリハーサルを、下の評価
※基準を参考にしながら、各自で行っておくこと

< 評価の手順 >

1. デスクトップ「生徒用 Server」→「相互評価」→「クラス名」で、自分の出席番号のファイルを開く。
2. 下の発表の観点に沿って評価を行い、SABC（大文字半角）、点数の計算（半角）を行う。コメントも時間の許す限り記入する。
3. すべての発表が終わったら、上書き保存して終了する。

< 評価基準 >

	評価項目	A	B	C
発表	①はっきりした声	よく	だいたい	もう一工夫
	②言葉づかい	できている	できている	
	③目線を前に向ける			
デザイン	①スライドの内容	よく	だいたい	もう一工夫
	②スライドの見やすさ	できている	できている	
	③話とのタイミング			
内容	①内容の構成	よく	だいたい	もう一工夫
	②客観性	できている	できている	
	③説得力			

※ 標準がB、いいものがAで、Aの中でとくにすばらしいものにS

自己評価シート

	A	B	C	自己評価
時間配分	時間を有効に使い、工夫を重ねた作品を作れた	決められた時間内で作品を完成させた	時間を無駄に使うことも多かった。	
制作態度	積極的に工夫し作品を完成させた	指示通りの作品を作ることができた。	なかなか手が動かず、作品制作に手間取った。	
発表態度	目線・言葉づかいなど、意識して発表を行えた。	発表準備どおりに発表を行えた。	準備不足であった。	
コメント (苦勞した点・工夫した点など)				

☆考察☆ 他の人のプレゼンテーションを見て、よかった人・高い点数をつけた人は、どのような工夫・方法をしていたか考えて書いてください。